

全国瞬時警報システム（Jアラート）が使用時の危機管理対応について

北海道帯広緑陽高等学校長

弾道ミサイル等が日本に飛来し、緊急に対応すべき事態が生じた場合、全国瞬時警戒システム（Jアラート）が使用され、TV、ラジオ、スマートフォン等を介して、情報が伝達されます。過日のJアラート対応を受け、今後の本校での対応をお知らせいたしますので、ご理解の程よろしく願います。

記

- 1 登校前⇒指示があるまで「自宅待機」して、身柄の安全確保を図ること
 - 生徒・保護者は「Jアラート」により「屋内避難の呼びかけ」があった場合、登校することを見合わせ、自宅から出ずに安全確保してください。
 - 登校の指示は、安全が確認（公共交通機関の運行状況等を含む）できた後、「安全安心メール（楽メ）」及び本校ホームページの緊急連絡欄にて指示いたします。各自で確認するようお願いいたします。（これらの確認できない場合は、HR担任へ連絡してください）
 - 状況によっては「登校時間の繰り下げ」や「臨時休校」等の対応も考えられます。安全が確保できた後に、追加連絡を出しますので、必ず確認をお願いします。
- 2 登校中・下校中⇒次の行動により「安全確保」を図ること
 - 生徒は近くのできるだけ頑丈な建物等に避難し、身の安全を確保してください。
 - 近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠し、地面に伏せるなどして頭部を守ってください。
 - 公共交通機関に乗車中の場合、乗務員の指示に従ってください。
- 3 授業中⇒すぐに活動を中止し、教員の指示に従い「安全確保」を図ること
 - 生徒は教室・特別教室・体育館にいた場合、ドアや窓、カーテンを全て閉めて待機してください。（廊下・トイレ等にいた場合は、近くの教室へ急ぎ移動する）
 - グラウンドにいた場合、生徒玄関（校舎内）へ移動し、ドアから離れた場所で待機してください。
 - 続報により、付近に落下する恐れがある場合、教室や体育館の中央に身を寄せ、伏せるなどして頭部を守ってください。
 - 安全が確認された後、校内放送により授業の再開を指示いたします。
- 4 休み時間中⇒次の行動により「安全確保」を図ること
 - 生徒は上記「授業中」の対応に準じて各自で速やかに安全を確保してください。
- 5 昼休み中⇒次の行動により「安全確保」を図ること
 - 生徒は教室で食事をしていた場合、すぐに食事を中止し、上記「授業中」の対応に準じて各自で速やかに安全を確保してください。
 - 廊下・特別教室・体育館等にいた場合も、上記「授業中」の対応に準じる他、できるだけ窓側から離れて待機してください。
 - 安全が確認された後、校内放送等により食事並びにその後の教育活動の再開を指示いたします。
- 6 放課後⇒すぐに活動を中止し、近くにいる教員の指示に従い「安全確保」を図ること

- 生徒は校地内にて活動していた場合、清掃や講習・補習、委員会活動や部活動をすぐに中止し、校舎内外において上記「授業中」の対応に準じて各自で速やかに安全を確保してください。
 - 安全が確認された後、校内放送等により活動の再開や下校の指示をいたします。ただし、状況によっては保護者と一旦連絡が取れた後になる場合もあります。
- 7 定期考査中⇒考査を中止し、教員の指示により「安全確保」を図ること
- 生徒は考査の受検を一時中断し、上記「授業中」の対応に準じて各自で速やかに安全を確保してください。
 - 考査の問題用紙・解答用紙を机の中に入れて待機してください。
 - 安全が確認された後、校内放送等により考査の「再開時間」及び「終了時間」の指示をします。
- 8 休日等⇒その時の状況により、上記1～7に準じた行動を取り「安全確保」を図ること
- 不明なことがあれば、HR担任や部活動顧問に問い合わせてください。